

		指標区分						指標の選定基準							
基本戦略	状態目標/行動目標	目標の要素				指標の属性	指標名称	把握方法・頻度	目標への整合性	定量性・妥当性・透明性	指標の地理的スケール	継続性（過去）	継続性（将来）	判定	評価に関する備考
			大区分	小区分	細区分										
基本戦略 2 自然を活用した社会課題の解決	状態目標2-1 国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	生態系サービス	－	－	NBSAP指標	生物多様性及び生態系サービスに関する総合評価（JBO）における生態系の規模及び質に関する評価の傾向	JBOの評価で活用された「矢印」の変化で評価する。（2025年、2028年頃）	－	－	－	－	－	－	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	生態系サービス	－	－	GBFヘッドライン指標	B.1 Services provided by ecosystems* 生態系が提供するサービス*		○	○	○	×	○	B	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	生態系サービス	－	－	新規（有識者ヒア）	海洋健全度指数OHI	海岸保護や生物多様性、水のきれいさ、零細漁業の可能性など10の指標を用いて、多角的、総合的に評価できるもの	○	○	○	×	○	B	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料・農産物	供給力	JBO3指標	B20-1 耕地面積	※基本戦略1状態目標1で整理 農林水産省『作物統計』より統計値を取得	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料・農産物	供給量	JBO3指標	P1-1 水稲の生産量	統計資料より把握（毎年）	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料・農産物	供給量	JBO3指標	P1-2 水稲の生産額	統計資料より把握（毎年）	△	○	○	○	○	C	生産額であるため目標への整合性は△とした
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料・農産物	供給量	JBO3指標	P1-3 小麦・大豆の生産量	統計資料より把握（毎年）	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料・農産物	供給量	JBO3指標	P1-4 麦類・豆類の生産額	統計資料より把握（毎年）	△	○	○	○	○	C	生産額であるため目標への整合性は△とした
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料・農産物	供給量	JBO3指標	P1-5 野菜・果実の生産量	統計資料より把握（毎年）	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料・農産物	供給量	JBO3指標	P1-6 野菜・果実の生産額	統計資料より把握（毎年）	△	○	○	○	○	C	生産額であるため目標への整合性は△とした
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料・農産物	供給量	JBO3指標	P1-7 農作物の多様性	Aizen et al.（2009）の Pielou の J 指数、作物データは作物統計に記載された普通作物・野菜・果樹とし、このうち野菜や果樹の統計が取得できた 1973 年以降、データに欠損がないものを対象	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料・農産物	供給量	JBO3指標	P1-8 コメ品種の多様性	公益社団法人・米穀安定供給確保支援機構のホームページ「米ネット」等、コメ品種の作付率の上位10種からハーフィンダール・ハーシュマン指数（H H I）を算出	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料・農産物	供給量	JBO3指標	P1-9 畜産の生産量	統計資料より把握（毎年）	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料・農産物	供給量	JBO3指標	P1-10 畜産の生産額	統計資料より把握（毎年）	△	○	○	○	○	C	生産額であるため目標への整合性は△とした
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料・農産物	消費量	新規	米の消費量	一人当たり消費量も併記する	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料・農産物	消費量	新規	小麦・大豆の消費量	一人当たり消費量も併記する	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料・農産物	消費量	新規	野菜・果実の消費量	一人当たり消費量も併記する	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料・農産物	消費量	新規	畜産物の消費量	一人当たり消費量も併記する	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料・特用林産物	供給量	JBO3指標	P2-1 松茸・竹の子の生産量	統計資料より把握（毎年）	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料・特用林産物	供給量	JBO3指標	P2-2 椎茸原木の生産量	統計資料より把握（毎年）	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料・特用林産物	供給量	新規（有識者ヒア）	山菜（天然）の生産量	農林水産省、特用林産物生産統計調査	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料・特用林産物	消費量	新規	松茸・竹の子の消費量	一人当たり消費量も併記する	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料・特用林産物	消費量	新規	椎茸の消費量	一人当たり消費量も併記する	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料・水産物	供給力	JBO3指標（有識者ヒア）	B30-1 我が国周辺水域の漁業資源評価		○	○	○	○	○	A	

基本戦略	状態目標/行動目標	目標の要素	指標区分			指標の属性	指標名称	把握方法・頻度	指標の選定基準						
			大区分	小区分	細区分				目標への整合性	定量性・妥当性・透明性	指標の地理的スケール	継続性（過去）	継続性（将来）	判定	評価に関する備考
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料-水産物	供給力	新規（有識者ヒア）	自然資本当たりの漁獲量	沿岸漁業を代表する魚介類の生活史との関連性を踏まえ生態系（自然資本）を三段階評価し、その評価に応じて漁獲量を傾斜配分したものの。その関連する自然資本の面積で漁獲量を除した後0～1に正規化している。	○	○	○	×	○	B	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料-水産物	供給量	JBO3指標（有識者ヒア）	P3-1 海面漁業の生産量	統計資料より把握（毎年） 魚種別だけでなく、沿岸直近、沖合の近海、遠洋漁業に分けて集計する	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料-水産物	供給量	JBO3指標	P3-2 海面漁業の生産額	統計資料より把握（毎年）	△	○	○	○	○	C	生産額であるため目標への整合性は△とした
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料-水産物	供給量	JBO3指標（有識者ヒア）	P3-3 海面養殖の生産量	統計資料より把握（毎年）	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料-水産物	供給量	JBO3指標	P3-4 海面養殖の生産額	統計資料より把握（毎年）	△	○	○	○	○	C	生産額であるため目標への整合性は△とした
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料-水産物	供給量	JBO3指標	P3-5 漁業種の多様性	PielouのJ指数を用い、対象とする魚種は漁業・養殖業生産統計年報に記載された種とし（その他の魚種やその他の貝類などはそれぞれ1種として扱う）、このうち1960年以降、データに欠損がないものを活用	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料-水産物	供給量	JBO3指標	P3-6 内水面漁業の生産量	統計資料より把握（毎年）	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料-水産物	供給量	JBO3指標	P3-7 内水面漁業の生産額	統計資料より把握（毎年）	△	○	○	○	○	C	生産額であるため目標への整合性は△とした
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料-水産物	供給量	JBO3指標	P3-8 内水面養殖の生産量	統計資料より把握（毎年）	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料-水産物	供給量	JBO3指標	P3-9 内水面養殖の生産額	統計資料より把握（毎年）	△	○	○	○	○	C	生産額であるため目標への整合性は△とした
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	食料-水産物	消費量	新規	食用魚介類の一人当たりの消費量	水産白書より引用	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	資源-淡水	供給力	新規	潜在的な水供給量	InVestを用いて全国評価を実施	○	○	○	要確認	要確認	B	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	資源-淡水	供給量	JBO3指標	P4-1 取水量	国土交通省資料より引用	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	資源-木材	供給力	JBO3指標	P5-4 森林蓄積	林野庁資料より引用	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	資源-木材	供給量	JBO3指標	P5-1 木材の生産量	統計資料より把握（毎年）	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	資源-木材	供給量	JBO3指標	P5-2 木材の生産額	統計資料より把握（毎年）	△	○	○	○	○	C	生産額であるため目標への整合性は△とした
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	資源-木材	供給量	JBO3指標	P5-3 生産樹種の多様性	PielouのJ指数、対象とする樹種は木材統計調査に記載されたものとし（その他の針葉樹とその他の広葉樹はそれぞれ1種として扱う）、このうち1960年以降、データに欠損がないもの	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	資源-木材	供給量	JBO3指標	P5-5 薪の生産量	統計資料より把握（毎年）	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	資源-木材	供給量	JBO3指標	P5-6 木質粒状燃料の生産量	統計資料より把握（毎年）	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している		資源-木材	消費量	新規	木材の国内消費量	用材、しいたけ原木、燃料材のすべてを含めた国内消費量を集計	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	資源-原材料	供給力	新規	竹林面積	1/2.5万植生図より竹林の面積を集計	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	資源-原材料	供給量	JBO3指標	P6-1 竹材の生産量	統計資料より把握（毎年）	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	資源-原材料	供給量	JBO3指標	P6-2 木炭の生産量	統計資料より把握（毎年）	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	資源-原材料	供給量	JBO3指標	P6-3 炭の生産量	統計資料より把握（毎年）	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	資源-原材料	供給量	JBO3指標	P6-4 養蚕の生産額	統計資料より把握（毎年）	△	○	○	○	○	C	生産額であるため目標への整合性は△とした

基本戦略2															
基本戦略	状態目標/行動目標	目標の要素	指標区分			指標の属性	指標名称	把握方法・頻度	指標の選定基準						
			大区分	小区分	細区分				目標への整合性	定量性・妥当性・透明性	指標の地理的スケール	継続性（過去）	継続性（将来）	判定	評価に関する備考
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	資源-原材料	消費量	新規	木材の国内消費量	統計資料より把握（毎年）	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	資源-原材料	消費量	新規	木炭の国内消費量	統計資料より把握（毎年）	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	資源-原材料	消費量	新規	原料炭の国内消費量	原料炭受給より消費数量	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	資源-薬用資源	供給力	新規	薬用作物の栽培面積	薬用作物＋薬用人参の栽培面積	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	資源-薬用資源	供給量	新規	薬用作物の生産量	薬用作物＋薬用人参の生産量	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	調整サービス	気候の調節	－	JB03指標	R1-1 森林の炭素吸収量	国別報告書及び隔年報告書より値を取得	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	調整サービス	気候の調節	－	JB03指標	R1-5 蒸発散量	JB03での評価方法に基づく ★必要なデータ⇒・気温・日照時間・土地利用の空間データ）	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	調整サービス	大気の調節	－	JB03指標	R1-6 都市緑化等による温室効果ガス吸収量	環境省が毎年発表している「温室効果ガス排出・吸収量算定結果」の「京都議定書に基づく吸収源活動」より、2020年度までは「植生回復活動」、2021年度以降は「都市緑化活動」として示されたCO2吸収量データを取得。	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	調整サービス	大気の調節	－	JB03指標	R2-1 NO2 吸収量	JB03での評価方法に基づく ★必要なデータ⇒NO2濃度と一次生産量の空間データ）	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	調整サービス	大気の調節	－	JB03指標	R2-3 SO2 吸収量	JB03での評価方法に基づく ★必要なデータ⇒NO2濃度と一次生産量の空間データ）	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	調整サービス	大気の調節	－	新規（有識者ヒア）	藻場による炭素固定量	堀ほか(2017)に基づき全国7地域の自然資本(藻場)のタイプ別に単位面積当たりの年間炭素吸収量(原単位)を算出し、各藻場の面積に乗じて算定したもの	○	○	○	×	○	B	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	調整サービス	大気の調節	－	新規	海草・海藻藻場による炭素貯留量	NIR（日本国温室効果ガスインベントリ報告書）より「その他湿地カテゴリー」の「海草・海藻藻場」における炭素貯留量の値を引用する。（毎年）	○	○	○	×	○	B	状態目標2の指標と同じ
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	調整サービス	大気の調節	－	新規	マングローブ林による炭素貯留量	NIR（日本国温室効果ガスインベントリ報告書）より「その他湿地カテゴリー」の「マングローブ林」における炭素貯留量の値を引用する。（毎年）	○	○	○	×	○	B	GHGインベントリ算定にマングローブ林は2023年から反映されている。（マングローブ林のみで集計できるか確認中）
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	調整サービス	大気の調節	－	新規	塩性湿地による炭素貯留量		○	○	○	×	○	B	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	調整サービス	水の調節	－	JB03指標	R3-1 地下水涵養量	JB03での評価方法に基づく ★必要なデータ⇒降水量・気温・土地利用・標高・土壌図の空間データ	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	調整サービス	土壌の調節	－	JB03指標	R4-1 土壌流出防止量	JB03での評価方法に基づく ★必要なデータ⇒降雨量・土壌図・標高の空間データ等	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	調整サービス	土壌の調節	－	JB03指標	R4-2 窒素維持量	JB03での評価方法に基づく ★土壌図	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	調整サービス	土壌の調節	－	JB03指標	R4-3 リン酸維持量	JB03での評価方法に基づく ★土壌図	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	調整サービス	災害の緩和	－	JB03指標	R5-1 洪水調整量	JB03での評価方法に基づく ★ピーク流出係数、洪水到達時間内の平均降雨強度など	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	調整サービス	災害の緩和	－	JB03指標	R5-2 表層崩壊からの安全率の上昇度	JB03での評価方法に基づく ★表層土壌の厚さ、林齢等	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	調整サービス	災害の緩和	－	新規（自然環境保全基礎調査総合解析）	遊水地の面積	自然環境保全基礎調査総合解析より引用または日本の遊水地ポリゴンデータ（金芝潤・諏訪夢人・西廣淳、2021.日本の遊水地ポリゴンデータ ver. 1）	○	○	○	×	×	B	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	調整サービス	災害の緩和	－	JB03指標	R5-3 海岸の防災に資する保安林の面積		○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	調整サービス	災害の緩和	－	NBSAP指標（再掲）	沿岸・海洋生態系（サンゴ礁）面積	・自然環境保全基礎調査におけるサンゴ礁面積を把握する。（10年に1回程度）	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	調整サービス	生物学的コントロール（花粉媒介や病害虫抑制）	－	JB03指標	R6-1 花粉媒介種への依存度	各作物の花粉媒介種への依存度と農業生産に占めるその割合から算出したもの（花粉媒介種自体の変動は考慮されていない）	○	○	○	○	○	A	

赤字：R6年度に新規追加した指標
青字：R5年度に新規追加した指標

参考資料 2
基本戦略2

基本戦略	状態目標/行動目標	目標の要素	指標区分			指標の属性	指標名称	把握方法・頻度	指標の選定基準						
			大区分	小区分	細区分				目標への整合性	定量性・妥当性・透明性	指標の地理的スケール	継続性（過去）	継続性（将来）	判定	評価に関する備考
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	調整サービス	生物学的コントロール（花粉媒介や病害虫抑制）	－	JBO3指標	R6-2 生物農薬の登録状況		○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	文化的サービス	宗教・祭り	－	JBO3指標	C1-3 シキミ・サカキの生産量		○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	文化的サービス	宗教・祭り	－	JBO3指標	C1-4 年別・樹種別の巨樹・巨木数の変化		△	○	○	○	○	C	巨樹・巨木の全てがご神木・信仰の対象となっているわけではないため、目標への整合性は△とした
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	文化的サービス	教育	－	JBO3指標	C2-2 環境教育 NGO 数		△	○	○	○	×	C	環境教育NGOの団体数と文化的サービスとしての活用は直接的な関係性ではないため、目標への整合性は△とした
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	文化的サービス	教育	－	JBO3指標	C2-3 図鑑の発行部数		△	○	○	○	○	C	図鑑の発行数と文化的サービスとしての活用は直接的な関係性ではないため、目標への整合性は△とした
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	文化的サービス	教育	－	JBO3指標（有識者ヒア）	E1-3-4-2 子供の自然体験への参加割合		○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	文化的サービス	景観	－	JBO3指標	C3-1 景観の多様性	土地利用（生態系）の多様性を、Pielou の J 指数を用いて計算する。	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	文化的サービス	伝統芸能・伝統工芸	－	JBO3指標	C4-1 伝統工芸品の生産額		△	○	○	○	○	C	対象が生態系サービスを活用した伝統工芸品に限られないため、目標への整合性は△とした
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	文化的サービス	伝統芸能・伝統工芸	－	JBO3指標	C4-2 伝統工芸品従業者数		△	○	○	○	○	C	対象が生態系サービスを活用した伝統工芸品に限られないため、目標への整合性は△とした
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	文化的サービス	伝統芸能・伝統工芸	－	JBO3指標	C4-3 生漆の生産量		○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	文化的サービス	食文化	－	JBO3指標	C4-4 酒類製成量		○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	文化的サービス	食文化	－	JBO3指標	C4-5 酒蔵・濁酒製成場・地ビール製成場の数		○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	文化的サービス	食文化	－	JBO3指標	C4-6 食文化の地域的多様性	都道府県ごとに各食品の一世帯当たりの購入数量を取得し、食品ごとに変動係数（標準偏差／平均）を算出する。	△	○	○	○	○	C	食文化の地域性を評価したものであり、生態系サービスの活用自体を評価した指標ではないため、目標への整合性は△とした
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	文化的サービス	食文化	－	新規（有識者ヒア）	地域特産野菜の生産量	調査が継続されている品目に絞って収穫量を集計	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	文化的サービス	食文化	－	JBO3指標（有識者ヒア）	P2-1 松茸・竹の子の生産量	統計資料より把握（毎年）	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	文化的サービス	食文化	－	新規（有識者ヒア）	ジュンサイの生産量	三種町森岳じゅんさいの里活性化協議会（三種町役場 商工観光交流課内）の公表データを委員用	○	○	×	○	○	B	全国の生産量は昭和58～平成22年度までしか把握されていないため、データのある秋田県三種町の生産量を活用
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	文化的サービス	食文化	－	JBO3指標	P3-5 漁業種の多様性（再掲）	Pielou の J 指数を用い、対象とする魚種は漁業・養殖業生産統計年報に記載された種とし（その他の魚種やその他の貝類などはそれぞれ 1 種として扱う）、このうち 1960 年以降、データに欠損がないものを活用	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	文化的サービス	食文化	－	JBO3指標	P1-7 農作物の多様性（再掲）	Aizen et al. (2009) の Pielou の J 指数、作物データは作物統計に記載された普通作物・野菜・果樹とし、このうち野菜や果樹の統計が取得できた 1973 年以降、データに欠損がないものを対象	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	文化的サービス	食文化	－	JBO3指標	P1-8 コメ品種の多様性（再掲）	公益社団法人・米穀安定供給確保支援機構のホームページ「米ネット」等、コメ品種の作付率の上位10種からハーフィンダー・ハーシュマン指数（H H I）を算出	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	文化的サービス	食文化	－	新規（有識者ヒア）	生物文化多様性指標		○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	文化的サービス	観光・レクリエーション	－	JBO3指標	C5-1 レジャー活動参加者数		○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	文化的サービス	観光・レクリエーション	－	JBO3指標	C5-2 国立公園利用者数		○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	文化的サービス	観光・レクリエーション	－	新規	市民農園開設状況	農園数、面積を集計	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	文化的サービス	観光・レクリエーション	－	新規（委員照会）	自然を対象とした観光地点数と観光入込客数	国土交通省観光庁が発行する共通基準に基づいた観光入込客統計から自然の観光地点数、観光入込客数を引用	○	○	○	○	○	A	統計の更新は各都道府県にゆだねられるため、一部の都道府県では情報の更新が遅い場合がある。
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	文化的サービス	観光・レクリエーション	－	新規（有識者ヒア）	海岸のレクリエーション価値	携帯電話から得られる位置情報ビッグデータを環境価値評価手法に統合して、全国の砂浜におけるレクリエーション価値を評価された結果を引用	○	○	○	×	×	B	一時点データのみ

基本戦略	状態目標/行動目標	目標の要素	指標区分			指標の属性	指標名称	把握方法・頻度	指標の選定基準						
			大区分	小区分	細区分				目標への整合性	定量性・妥当性・透明性	指標の地理的スケール	継続性（過去）	継続性（将来）	判定	評価に関する備考
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	文化的サービス	観光・レクリエーション	－	新規（委員照会）	全国の河川空間の利用者数	河川水辺の国勢調査の河川空間利用実態調査より、全国の河川空間利用者総数の経年変化グラフを引用	○	○	○	○	○	A	
		国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	文化的サービス	観光・レクリエーション	－	新規（委員照会）	全国のダム湖の利用者数	河川水辺の国勢調査の河川空間利用実態調査より、全国のダム湖利用者数の経年変化グラフを引用	○	○	○	○	○	A	
	状態目標2-2 気候変動対策による生態系影響が抑えられるとともに、気候変動対策と生物多様性・生態系サービスのシナジー構築・トレードオフ緩和が行われている	気候変動対策による生態系影響が抑えられるとともに、気候変動対策と生物多様性・生態系サービスのシナジー構築が行われている	シナジー	緩和策	－	新規	自然生態系による炭素吸収量	NIR（日本国温室効果ガスインベントリ報告書）にて温室効果ガス吸収量は算出済みであり、ここに記載のある下記3指標をHPより引用して合算する。 （毎年） 森林吸収源対策[百万t-CO2] 都市緑化等の推進 [百万t-CO2]	○	○	○	○	○	A	
		気候変動対策による生態系影響が抑えられるとともに、気候変動対策と生物多様性・生態系サービスのシナジー構築が行われている	シナジー	緩和策	吸収源対策－森林の保全・再生、持続可能な森林管理、森林バイオマス利用	新規	森林吸収源対策による炭素吸収量	NIR（日本国温室効果ガスインベントリ報告書）より「森林経営」「森林減少」「新規植林・再植林」による吸収量の値を引用する。（毎年）	○	○	○	○	○	A	
		気候変動対策による生態系影響が抑えられるとともに、気候変動対策と生物多様性・生態系サービスのシナジー構築が行われている	シナジー	緩和策	吸収源対策－ブルーカーボンの保全・再生	新規	マングローブ林による炭素貯留量	NIR（日本国温室効果ガスインベントリ報告書）より「その他湿地カテゴリー」の「マングローブ林」における炭素貯留量の値を引用する。（毎年）	○	○	○	○	○	A	（マングローブ林のみで集計できるか確認中）
		気候変動対策による生態系影響が抑えられるとともに、気候変動対策と生物多様性・生態系サービスのシナジー構築が行われている	シナジー	緩和策	吸収源対策－ブルーカーボンの保全・再生	新規	海草・海藻藻場による炭素貯留量	NIR（日本国温室効果ガスインベントリ報告書）より「その他湿地カテゴリー」の「海草・海藻藻場」における炭素貯留量の値を引用する。（毎年）	○	○	○	×	○	B	（藻場のみで集計できるか確認中）
		気候変動対策による生態系影響が抑えられるとともに、気候変動対策と生物多様性・生態系サービスのシナジー構築が行われている	シナジー	緩和策	吸収源対策－湿地の炭素貯留	新規	塩性湿地による炭素貯留量		△	○	○	×	○	C	気候変動対策活動が伴った吸収量ではなく、目標への整合性は△とした
		気候変動対策による生態系影響が抑えられるとともに、気候変動対策と生物多様性・生態系サービスのシナジー構築が行われている	シナジー	緩和策	吸収源対策－都市緑化	JBO3指標	R1-6 都市緑化等による温室効果ガス吸収量	環境省が毎年発表している「温室効果ガス排出・吸収量算定結果」の「京都議定書に基づく吸収源活動」より、2020年度までは「植生回復活動」、2021年度以降は「都市緑化活動」として示されたCO2吸収量データを取得。	○	○	○	○	○	A	
		気候変動対策による生態系影響が抑えられるとともに、気候変動対策と生物多様性・生態系サービスのシナジー構築が行われている	シナジー	適応策	防災・減災等のグリーンインフラ・NbS	新規（自然環境保全基礎調査総合解析）	森林の持つ多面的機能を総合的かつ高度に発揮させる保安林の面積（全保安林面積）	自然環境保全基礎調査総合解析より引用 国有林内の保安林は林野庁国有林GISデータ（令和5年度）から抽出。民有林内の保安林は国土数値情報（森林地域データ）（平成27年度）を使用。 ※保安林の種別は問わず全て一律で扱う（国土数値情報の民有林の保安林データは、種類の区別がないため）	△	○	○	○	○	C	気候変動対策活動が伴った保安林の施策を行っているかは不明なため
		気候変動対策による生態系影響が抑えられるとともに、気候変動対策と生物多様性・生態系サービスのシナジー構築が行われている	シナジー	適応策	防災・減災等のグリーンインフラ・NbS	新規（委員照会、自然環境保全基礎調査総合解析）	遊水池の面積	自然環境保全基礎調査総合解析より引用 または日本の遊水地ポリゴンデータ（金芝潤・諏訪夢人・西廣淳、2021.日本の遊水地ポリゴンデータ ver. 1）	○	○	○	×	×	B	
		気候変動対策による生態系影響が抑えられるとともに、気候変動対策と生物多様性・生態系サービスのトレードオフ緩和が行われている	トレードオフ	緩和策	創エネ（太陽・風力・地熱・中小水力・バイオマス）	新規（自然環境保全基礎調査総合解析）	再生可能エネルギー施設と重要地域・絶滅危惧種分布	自然環境保全基礎調査総合解析より引用 絶滅危惧種、元・普通種の集中地域及び重要地域のうち既存の太陽光発電施設立地および施設適地との重要地域には基礎調査（すぐれた自然、特定植物群落、海域調査（藻場・干潟・サンゴ礁、海岸）、河川、湖沼、湿地、マングローブ、巨樹巨木）およびその他重要地域（モニ1000調査地、生物多様性保全のための国土区分ごとの重要地域情報、里地里山メッシュ、Satoyama Index、重要里地里山、重要湿地）を含む	○	○	○	×	×	B	
		気候変動対策による生態系影響が抑えられるとともに、気候変動対策と生物多様性・生態系サービスのトレードオフ緩和が行われている	トレードオフ	緩和策	創エネ（太陽・風力・地熱・中小水力・バイオマス）	新規（有識者ヒア）	生物多様性の重要性と既存の再エネの設置位置		○	○	○	×	○	A	松井助教と指標を具体的に検討中の為、A指標と判断した
		気候変動対策による生態系影響が抑えられるとともに、気候変動対策と生物多様性・生態系サービスのトレードオフ緩和が行われている	トレードオフ	緩和策	創エネ（太陽・風力・地熱・中小水力・バイオマス）	新規（R5年度追加）	生態系の改変を伴う再エネ導入設置に関するガイドラインや条例の件数		△	○	○	×	○	C	行動目標に近い指標のため目標への整合性を△とした
	状態目標2-3 野生鳥獣との適切な距離が保たれ、鳥獣被害が緩和している	野生鳥獣との適切な距離が保たれ	野生生物による直接的な被害	鳥獣管理	－	NBSAP指標	ニホンジカ、イノシシの推定個体数	前年までの捕獲数等の情報をもとに、ハーベストベースドモデルを基本とした階層ベイズモデルを用いて推定（毎年）	○	○	○	○	○	A	
		野生鳥獣との適切な距離が保たれ	野生生物による直接的な被害	鳥獣管理	－	JBO3指標	D-1 野生鳥獣対策予算額、被害防止計画作成市町村数		△	○	○	○	○	C	行動目標に近い指標のため目標への整合性を△とした
		野生鳥獣との適切な距離が保たれ	野生生物による直接的な被害	鳥獣管理	－	JBO3指標	B7-1 狩猟者数		△	○	○	○	○	C	行動目標に近い指標のため目標への整合性を△とした
		野生鳥獣との適切な距離が保たれ	野生生物による直接的な被害	鳥獣管理	－	新規（自然環境保全基礎調査総合解析）	狩猟者の経年変化	狩猟登録証交付状況について4年代（鳥獣保護政策期：1980年、分布拡大期：2005年、分布まん延期：2015年、人口減少期：2019年）で集計し、人口比での経年変化を算出。	△	○	○	○	○	C	行動目標に近い指標のため目標への整合性を△とした
		野生鳥獣との適切な距離が保たれ	健康へのリスク	感染症	－	NBSAP指標	野生鳥獣に関する感染症により、種の存続を脅かす野生鳥獣の大量死や希少鳥獣への悪影響が確認された数	全国の発生状況を取りまとめる。（随時）	△	○	○	×	○	C	行動目標に近い指標のため目標への整合性を△とした
		野生鳥獣との適切な距離が保たれ	健康へのリスク	感染症	－	JBO3指標	D-5 ダニ媒介感染症の患者数等		○	○	○	○	○	A	
		鳥獣被害が緩和している	野生生物による直接的な被害	農作物、森林被害	－	NBSAP指標	全国の野生鳥獣による農作物被害額	市町村からの報告を基にして、全国の被害状況を取りまとめ。農林水産省が測定。（毎年）	○	○	○	○	○	A	
		鳥獣被害が緩和している	野生生物による直接的な被害	農作物、森林被害	－	NBSAP指標	主要な野生鳥獣による森林被害面積	都道府県等からの報告による、民有林及び国有林の被害面積の合計。（毎年）	○	○	○	○	○	A	
		鳥獣被害が緩和している	野生生物による直接的な被害	人的被害	－	NBSAP指標	クマ類による人身被害件数	全国の発生状況を取りまとめる。（毎年）	○	○	○	○	○	A	
		鳥獣被害が緩和している	野生生物による直接的な被害	人的被害	－	JBO3指標	D-4 ハチによる人的被害		○	○	○	○	○	A	